

XV 水 質

15-1 水質

15-1-1 一級河川の環境基準満足状況

(1) 一級河川の環境基準満足状況

国土交通省は、昭和33年から全国一級河川の水質調査を実施しており、令和3年は一級河川直轄区間の河川延長約10,668km（令和5年4月現在）に対して1,086地点で実施している。平均的すると河川延長10kmに1地点の割合で実施したことになる。

① 人の健康の保護に関する環境基準

人の健康の保護に関する環境基準は、環境基本法に基づき公共用水域に一律に適用されるものとして、27項目が定められている。

令和5年は、全国859地点で総検体数30,150体について調査を実施し、環境基準値を超過した地点は2地点であった。自然に由来するものと考えられる。

② 生活環境の保全に関する環境基準

令和5年の類型指定区間内の調査地点は全国で993地点（河川890地点、湖沼101地点、海域2地点）であった。BOD（湖沼・海域はCOD）の環境基準を満足した地点数の割合は約91%であった（図）。

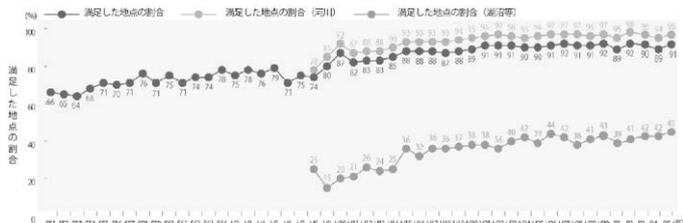


図 一級河川（湖沼及び海域を含む。）において環境基準を満足した地点の割合

15-1-2 一級河川の主要地点水質

(令和5年)

地方	水系名	河川名	地点名	類型	BOD (mg/L)		
					平均値	75%値	
北海道	天塩川	天塩川	中川	B	0.6	0.6	
	留萌川	留萌川	留萌橋	B	0.9	1.0	
	石狩川	石狩川	石狩大橋	B	1.0	1.3	
	石狩川	石狩川	網内橋	B	1.4	1.7	
	尻別川	尻別川	名駒	A	0.6	0.6	
	後志利別川	後志利別川	今金橋	A	0.5	<0.5	
	鷓川	鷓川	鷓川橋	A	0.6	0.5	
	沙流川	沙流川	沙流川橋	B	0.6	0.5	
	十勝川	十勝川	茂岩橋	B	0.9	1.0	
	釧路川	釧路川	瀬文平橋	AA	<0.5	<0.5	
	網走川	網走川	治水橋	B	1.1	1.3	
	常呂川	常呂川	忠志橋	B	2.0	2.4	
	湧別川	湧別川	中湧別橋	A	0.6	0.6	
	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	A	0.6	0.6	
	東北	阿武隈川	阿武隈川	岩沼	A	1.0	1.0
		阿武隈川	阿武隈川	黒岩	B	1.3	1.4
		名取川	広瀬川	三橋	B	1.0	1.2
鳴瀬川		鳴瀬川	小野	B	1.2	1.1	
北上川		猿ヶ石川	谷内	A	0.7	0.9	
北上川		雫石川	御所ダム下流	A	0.7	0.8	
北上川		雫石川	春木場	A	0.6	0.7	
北上川		葛根田川	葛根田	A	0.7	0.7	
北上川		南川	南川	A	0.6	0.7	
北上川		北上川	狐禅寺	A	1.0	1.1	
北上川		北上川	紫波橋	A	0.8	1.0	
北上川		和賀川	切留	AA	1.1	1.5	
馬淵川		馬淵川	尻内橋	B	0.6	0.7	
岩木川		岩木川	乾橋	A	1.4	2.0	
米代川		米代川	ニッ井	B	0.7	0.6	
雄物川		雄物川	椿川	A	0.7	0.7	
子吉川		子吉川	本荘大橋	B	0.6	0.5	
最上川	最上川	高屋	A	0.8	0.8		
赤川	赤川	新川橋（浜中）	A	0.9	1.1		
関東	久慈川	久慈川	榊橋	A	0.8	0.9	
	那珂川	那珂川	下国井	A	0.7	0.7	

地方	水系名	河川名	地点名	類型	BOD (mg/L)	
					平均値	75%値
関東	利根川	綾瀬川	手代橋	C	3.3	3.0
	利根川	鬼怒川	川島橋	A	0.8	0.9
	利根川	江戸川	新葛飾橋	A	1.5	1.6
	利根川	中川	飯塚橋	C	3.4	3.8
	利根川	渡良瀬川	渡良瀬大橋	B	2.0	2.5
	利根川	利根川	栗橋	A	1.0	1.1
	荒川	荒川	治水橋	A	1.3	1.4
	多摩川	多摩川	田園調布堰	B	1.4	1.5
	鶴見川	鶴見川	大綱橋	C	3.4	4.6
	相模川	相模川	馬入橋	B	1.1	1.3
	富士川	富士川	富士川橋	A	0.8	1.0
	荒川	荒川	荒川取水堰	AA	0.6	0.6
	阿賀野川	阿賀野川	横雲橋	A	0.7	0.9
北陸	信濃川	信濃川	平成大橋	A	1.3	1.9
	信濃川	千曲川	立ヶ花橋	A	1.4	1.9
	関川	関川	直江津橋	B	0.8	1.0
	姫川	姫川	山本	AA	0.6	0.6
	黒部川	黒部川	下黒部橋	AA	0.8	1.0
	常願寺川	常願寺川	常願寺橋	AA	0.8	0.8
	神通川	神通川	神通大橋	A	0.7	0.7
	庄川	庄川	大門大橋	A	0.6	0.6
	小矢部川	小矢部川	城光寺橋	B	0.9	1.0
	手取川	手取川	白山合口堰堤	A	0.8	0.8
	梯川	梯川	石田橋	B	0.9	1.0
	狩野川	狩野川	黒瀬橋	AA	0.6	0.5
	安倍川	安倍川	安倍川橋	AA	0.5	<0.5
大井川	大井川	神座	AA	<0.5	<0.5	
中部	菊川	菊川	国安橋	A	1.0	1.1
	天竜川	天竜川	鹿島橋	AA	0.5	0.5
	豊川	豊川	江島橋	A	0.6	0.5
	矢作川	矢作川	米津大橋	A	0.9	0.9
	庄内川	庄内川	枇杷島橋	C	2.9	3.4
	木曽川	長良川	藍川橋	A	0.7	0.7
	木曽川	木曽川	濃尾大橋	A	0.9	0.8
	木曽川	揖斐川	岡島橋	AA	0.6	0.7
	鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	A	0.7	0.6

地方	水系名	河川名	地点名	類型	BOD (mg/L)	
					平均値	75%値
中部	雲出川	雲出川	雲出橋	A	1.2	1.0
	櫛田川	櫛田川	櫛田橋	A	0.5	0.5
	宮川	宮川	度会橋	AA	0.5	<0.5
	新宮川	熊野川	熊野大橋	A	0.5	<0.5
	紀の川	紀の川	船戸	A	0.7	0.7
	大和川	大和川	浅香新取水口	C	1.5	1.6
	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	B	0.9	1.0
	淀川	桂川	宮前橋	A	0.8	0.9
	淀川	猪名川	軍行橋	A	0.8	0.9
	淀川	木津川	木津川御幸橋	A	0.7	0.9
	淀川	淀川	枚方大橋中央	B	0.9	1.1
	加古川	加古川	国包	B	1.0	1.0
	揖保川	揖保川	龍野	A	0.6	0.6
近畿	九頭竜川	九頭竜川	中角	A	0.6	0.6
	北川	北川	高塚	A	0.5	<0.5
	由良川	由良川	波美橋	A	0.5	0.5
	円山川	円山川	立野	B	0.6	0.6
	千代川	千代川	行徳	A	0.7	0.7
	天神川	天神川	小田	A	0.5	<0.5
	日野川	日野川	車尾	A	0.5	0.6
	斐伊川	斐伊川	大津	AA	0.6	0.7
	江の川	江の川	三国橋	A	0.8	0.9
	高津川	高津川	高津大橋	A	0.5	<0.5
	佐波川	佐波川	新橋	A	0.6	0.6
	小瀬川	小瀬川	两国橋	A	0.7	0.7
	太田川	太田川	玖村	A	0.9	1.1
芦田川	芦田川	山手橋	A	2.3	2.7	
中国	高梁川	高梁川	霞橋	B	1.4	1.8
	旭川	旭川	桜橋	B	5.3	2.0
	吉井川	吉井川	熊山橋	B	0.8	1.0
	重信川	重信川	出合橋	A	0.8	0.9
	肱川	肱川	肱川橋	A	0.6	0.5
	渡川	四万十川	具同	AA	<0.5	<0.5
	仁淀川	仁淀川	八田堰	AA	0.6	0.7
	物部川	物部川	山田堰	A	0.7	0.8
	那賀川	那賀川	那賀川橋	A	0.5	<0.5

地方	水系名	河川名	地点名	類型	BOD (mg/L)	
					平均値	75%値
四国	吉野川	吉野川	高瀬橋	A	0.5	<0.5
	土器川	土器川	丸亀橋	A	1.3	1.5
九州	遠賀川	遠賀川	日の出橋	B	1.6	1.8
	松浦川	松浦川	久里橋	A	1.7	2.1
	本明川	本明川	旭町	B	1.0	1.4
	六角川	六角川	住ノ江橋	E	1.9	2.2
	筑後川	筑後川	瀬ノ下	A	1.6	1.9
	矢部川	矢部川	船小屋	A	0.7	0.8
	菊池川	菊池川	山鹿	A	0.8	0.8
	白川	白川	小島橋	B	1.0	1.4
	緑川	緑川	上杉塚	A	1.2	1.3
	球磨川	球磨川	横石	A	0.6	0.6
	川内川	川内川	中郷	A	0.6	0.5
	肝属川	肝属川	河原田橋	B	1.9	2.4
	大淀川	大淀川	相生橋	A	0.8	0.8
	小丸川	小丸川	高城橋	AA	0.5	0.5
	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	松山橋	A	0.5	0.5
	番匠川	番匠川	番匠橋	A	0.6	0.5
	大野川	大野川	白滝橋	A	0.6	0.6
	大分川	大分川	府内大橋	A	0.6	0.7
	山国川	山国川	下唐原	A	0.7	0.8
	嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	A	1.3	1.2

注) 報告下限値を0.5mg/Lとして集計している。
報告下限値を下回る場合は「<0.5」と表示している

類型	基準値 (BOD)
AA	1mg/L以下
A	2mg/L以下
B	3mg/L以下
C	5mg/L以下
D	8mg/L以下
E	10mg/L以下

15-1-3 水質事故の発生状況

令和5年に一級水系で発生した水質事故は627件、うち上水道の取水停止を伴った水質事故は7件発生した。水質事故の原因物質としては、重油、軽油などの油の流出が約77%を占め、最も多い。

なお、一級水系においては、河川管理者と関係機関により構成される「水質汚濁防止連絡協議会」が109水系すべてに設置されており、水質事故発生時には、速やかに情報の収集、通報・連絡を行うとともに、関係機関との連携のもとにオイルフェンスの設置等により、被害の拡大防止に努めている。

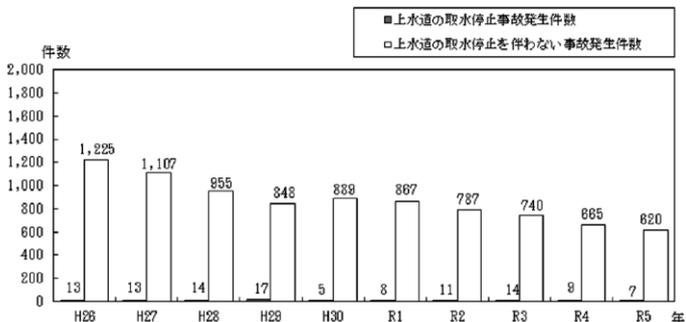


図 水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移